

令和8年度第1回宮崎県水産業・漁村振興協議会 議事概要

日 時 令和8年8月19日（水） 午後1時30分から2時30分まで

場 所 県庁講堂

出席者 別紙 出席者名簿のとおり

会長あいさつ	
会長	本日はお忙しい中、第6次宮崎県水産業・漁村振興長期計画、本協議会にご出席いただきましてありがとうございます。 本年度は4月から本計画の長期計画、後記計画がスタートしております。本日は昨年までの5年間の実績と本年度の計画について、審議・議事が予定されております。委員の皆さま方から意見を頂戴し、今後の宮崎県の水産施策へ反映していただくための貴重な会議・協議会と考えております。積極的にご意見をいただきたく思います。 また、大変恐縮ですが、意見がない場合は前回同様、私の方からご意見をいただくこともあるかと思しますので、何卒ご協力よろしく申し上げます。簡単ですが、開催にあたってのご挨拶とさせていただきます。
議事	
会長	早速、議事に移ります。 まず議事の1、第六次宮崎県水産業・漁村振興長期計画の概要および令和3年度から7年度の実績についてです。説明の間に適宜、質疑の時間を挟みたいと思いますので、それでは事務局より説明よろしく願いいたします。
事務局	～資料の説明～
会長	少しここで質疑の時間を持ちたいと思います。何か委員の皆さま方から何か質問等ありませんでしょうか。
委員	私はかつお一本釣漁業を営んでいます。漁業者が少ないというのがもう一番の問題で漁業者が少なければ漁村だって成り立っていかない。私の地元でもシャッター通りが多いからです。
事務局	高水研です。答えにはちょっとならないと思いますが、今の状況として、今年は10名の生徒がいます。で、中学校を出て本科生が7名と、高校を出てくる子が専攻科で今3名。今週の月曜から、夏休みで帰っていましたので、研修所に戻っているところです。昨年は一応8名、その前の年は9名というふうに、生徒がいました。 現在、来年の生徒集め、ずっと学校訪問とか、あと今週末はオープンスクールをやっております、定員10名のところを10名ということで、しめ切っています。 漁業の人気は、「竜喜丸」さんが、色々アップされていますので、カツお一本釣り船に乗りたいという子がいっぱい集まっているところです。逆に高水研の立場から申し上げますと、漁業者の方からも漁業の魅力を発信してもらえれば、更に集まるかなと思っておりますのでよろしくお願いします。
事務局	水産政策課でございます。後半の資料で紹介をさせていただこうと考えておりましたが、今年度、担い手確保のための新たな取組として、今までは全国漁業就業確保育成センターが東京・大阪・福岡あたりで開催する漁業就業支援フェアに出展ブースを出して、来場者の方から就業希望者を募るという活動をしておりましたが、今年は県独自の取組として、10月に、宮崎県版の

	漁業就業フェアをやってみようということで、今後宮崎県に来て漁業をしませんかという発信を、構成員もそうですし、我々行政や活性化機構なんかも SNS なんかを通じて積極的に取り組んで、来場者を募っていこうと考えております。 これは是非、漁業界の方からも、こういった求人募集しているよということで、出展する方も募りたいという面もございますので、是非、担い手が足りないという漁業者・漁業会社の方いらっしゃいましたら、水産政策課担い手係、もしくは漁村活性化推進機構の方に一報ご連絡いただければと思います。よろしくお願いします。
会長	県の現状および今進行状況について説明をいただきました。ありがとうございました。ほかに何かご質問等ないでしょうか。 先ほどは人口減少に対応した生産環境の創出ということで、担い手不足も含めたご質問等がありました。あとは成長を掴む高収益化と流通改革ということで、県の水産ブランドの新たな認証の実施というのがあります。それで、県の水産物の PR などについての説明等がありましたが、日南市での取組状況などについて、委員の方からもし何かありましたらお願いします。
委員代理	はい、日南市です。日南市の取組といたしましては、漁業だけではなく、農林水産業・商工と一体となって、産業活性化懇話会というのを立ち上げ...4年前、3年前に立ち上げ、年に2回ほどそれぞれの代表者の方々がお集まりになって、それぞれの市の政策について勉強会等をされております。その中で、2年前から始まったのが宮崎空港ビルでの、農林水産業・観光・商工一体となってPR活動をするというようなことで、「オール日南フェア」というのを今取り組んでおります。昨年につきましてはイオンモール福岡、それから宮崎の方でもさせていただいております。 そういった中で、「オール日南」ということで一体的にPRをしていこうという取り組みを今進めているところでございます。 さらに、先ほど委員が言われたように、日南市といたしましても、漁業者だけではなくて、農林水産業ひっくるめて第1次産業の人材不足というのが謳われておりまして、日南市では小中学生向けに「グッジョブフェスタ」という中で、漁業者の取組についても紹介をさせていただいているところでございますが、ある組合長の方からご要望があったのは、今後、マグロ船やカツオ船の乗組員が少ないということで、中学生・高校生を対象に出前講座等を再度やってほしいというようなこともありますので、次年度からそういったところを強化していきたいというふうに考えているところでございます。以上です。
会長	ほか何かよろしいですか。はい、それでは、先ほどは6ページでしたので、7ページ以降について事務局から説明よろしくお願いします。
事務局	～資料の説明～
会長	はい、ありがとうございました。ただいまの説明は7ページから11ページまででしたね。7ページから、水産資源の最適な利用管理と環境保全の対応、それから成長産業化をさせる漁村の基盤強化ということです。 ただいまの説明について何かご質問等ありませんでしょうか。
委員	クロマグロについては元々宮崎県の配当は元々少なく、漁獲量自体が少なかったためそういう設定になったと思いますけども、以前、どこかの県から配当をもらって、小型魚と大型魚を交換するという手法に関しては非常に助かっています。 それと、水産資源とは関係ないかもしれませんが、漁村地域の機能保持ってところで、私たちの水産業とはまた分野では全く違うのです

	が、造船所、実際私たち船をドックしたり修理したりするのに深い関わりがありますが、今その船をドックに上げるのに船台などの使用年数がかなり経っているにもかかわらず、新しい船台を手に入れる設備投資がなかなか難しいと聞きました。 今後、造船所が弱体化すると、漁業者にとってものすごい影響があると思います。だから、何とかこの水産業で造船所とか鉄工所とか、漁村という地域の中で一つの役割を果たしていると思います。そこら辺で何かこう水産業として何か手助けというか関わり合いがあるといいなと思っています。以上です。
会長	ありがとうございました。TAC については、現状、県はいろいろ進めていると思いますが、後半の、造船所の件も含めて事務局から何かありますか。
事務局	水産政策課でございます。まだ県としても、造船所の所管が商工のほうになっており、県庁内でもいろいろ調整を要するような事項であるということもありますので、後期計画には造船所等関連産業の維持継続に向けた取り組みを、関係者が集まって現状の認識共有から話し合ってみましょうということを書き込んだところです。 問題意識としては後期計画検討の際にもご意見いただいている中にありまして、関係者一同で話し合う機会をまずは持つようにしたいというふうに考えております。
会長	はい、ありがとうございました。取組のスタートをするということかなと思います。 あと、内水面資源の回復や内水面の生態系の保全などの説明が少しありました。もし何かありましたらお願いします。
委員代理	内水面漁連でございます。資料の 7 ページで、内水面資源の回復と適切な管理ということで、一番下に指標ということで、「漁協による内水面の増殖活動」が、令和元年度 32 箇所であったものが令和 7 年度の実績で 65 箇所、2 倍に増えているということで、県の支援に感謝申し上げたいと思います。 この 2 倍に増えた具体的な増殖活動の取組内容や要因などがあれば、分かれば教えていただきたいと思います。
事務局	水産政策課です。県では内水面振興法に基づいて、宮崎県内水面漁業活性化計画を策定しておりまして、この計画の中で、放流によらない増殖手法を推進するという目標、それから、鳥獣被害の対策を強化するという目標としております。 今回報告しました実績の中には、具体的に言うと、漁協が行います、ヤマメ産卵場造成活動、あるいは、カワウの対策として、アユ産卵場におけるテグス張りの活動など、3 年前から比べて増えているという状況であります。以上です。
会長	ありがとうございました。ほかに何かないでしょうか。 はい、これで議事の 1 は終了させていただきます。続きまして議事の 2、令和 8 年度 of 取組について事務局より説明をお願いします。
事務局	～資料の説明～
会長	ありがとうございました。えーとただいまの令和 8 年度の取り組みについて、後期計画について何かご質問等ありませんでしょうか。 私の方からちょっといいですか。2 ページの (2) 多様な人材確保と定着の促進ということで、赤で書いてある「初となる県独自の就業支援フェア開催（10 月予定）宮崎市」、10 月だからもうそろそろ準備しておかないといけないということで、もしかしたら申し込みとかすでに何人か来ていますか。
事務局	水産政策課です。10 月に予定している県独自のフェアですけども、10 月

	10 日土曜日に県庁で開催するということで今準備をしております、実際に今参加していただける漁業者さんの募集をしているところでございます。 一部の漁業者さんから参加したいというお声をいただいおり、まだ出揃ってはいないですが、今開催に向けた準備を進めております。以上です。漁業に興味を持っている一般の方が気軽に来場して、実際に漁業者から実情を聞き、就業に向けた情報収集ができる場づくりということで、今準備を進めております。
会長	これは漁業者の人がいろいろ説明をして、いろんな方、全く漁業者でない方がお集まりになるということですね。
事務局	漁業に興味を持っている一般の方が気軽に来場して、実際に漁業者から実情を聞き、就業に向けた情報収集ができる場づくりということで今準備を進めております。 来場者の募集につきましても、SNS や活性化機構のホームページを使って周知活動しております。
会長	はい、そういうことも積極的にやっているということですよ。はい、分かりました。ほか何かご質問ないでしょうか。はい、どうぞ。
委員	「みやざき丸」のことで、環境 DNA（の試験）は今やっているということですか。私たちはカツオ船ですが、最近は一回も探してもらったことはないと思います。ここ 2、3 年で（新船が）出来てから、一回もない。
会長	これに関しては今試験研究ということで、もっと詳しく、水産試験場の方からよろしくお願いします。
事務局	水産試験場です。「みやざき丸」が新しくなった令和 4 年から、環境 DNA を中心とした調査をしております。主にビンナガの環境 DNA を探して漁場予測をするというのをしておりますが、それとは別に、年明けの 1 月とか 7 月にはカツオの群れなどを探す調査にも行っています。 実際にビンナガについては環境 DNA を探すので、群れ自体を探して走るものではないですけど、今年と去年、環境 DNA でビンナガを捕捉しております、去年も今年も、携帯のアプリで関係漁業者の方には漁場予測を周知させていただいたところですが、去年についてはもうすでに漁場ができていたので、私たちの情報があまり役に立たなかったかもしれません。 今年度から、精度を上げるということをやっておりますので、引き続き支援できるように頑張っております。以上です。
会長	ありがとうございました。今年 1 月に宮崎県の水産試験場の研究報告会というのを毎年毎年やっていて、中でもある程度予測ができるということで、もっと精度を上げると、後期ということになりますかね。まだ分かりませんが、今そういう試験研究の段階ということになるかと思います。日高委員よろしいですか。
委員	トンボの漁があるの（漁場）は、（通常、東経）140 度から 150 度までぐらいでしょうか。それが今年は 160 度ですよ。水温（の影響）もあるかもしれないけど、全然近海では釣れなかった。それも「みやざき丸」が探してくれたら、とれたかもしれん、釣れたかもしれん。 船頭仲間から「みやざき丸」はどういう試験をやっているのかという声を聞いていましたので、お聞きしました。 カツオ船は、餌を放してみないと（カツオの群れが餌を）食うかどうかわからん、群ればかり追って「ここにいますよ」では、わかりません。（群れのところに）行って餌を放って食うか食わんかっていうのはそれやないと絶対わかりません。
会長	ありがとうございます。そういう技術がある程度確立されたら現場に応用

	できるようにしていただきたいと思います。よろしくお願いします。 ほかに何かご質問等はないでしょうか。要望でも結構です。 では私の方から少し違う方向で、えー魚食普及活動や県水産物の販売のPR、今後の方向性などなどについて少し説明がありましたけれども、宮崎県お魚普及協議会の取組などありましたら。
委員	こんにちは。お魚普及協議会の会長と、宮崎魚市場でせり人をやっています。いつもお世話になっています。先ほど会長がおっしゃられた、水産業の現場、生産者や漁業者もそうですけれど、市場、あと販売者の方々、仲卸の方々、本当に水産業では担い手が不足していて、皆さんも大変だと思います。そのへんも一緒にワンパッケージで見ていただけるとすごく助かります。 僕たちお魚普及協議会は、13年ぐらいですかね。県内の中学校の家庭科の家庭科の授業に、参加させていただいて、中学生たちに、マイワシとかアジとか魚のさばき方講習として、それを実際食べていただいて。雰囲気を感じていただくという取組をしています。 中学生たちが実際そこで作業して、魚を解体したりして食べて、家に帰ってお母さんたちに、喜びというか、感想を伝えてもらいますが、子供たちの反応は本当によくて、こういう活動を続けていくことによって、僕たちの販売、これから先10年20年その子供たちが大人になったときに、魚を食べていただける環境を作っていくのも市場としての仕事かなと思っています。 そういうそのボトムアップをしていかないと結局、魚をとっていただいても販売先はないとか。海外とか県外とか（販売先として）見ていくのはもちろん大事ですけど、そういう活動もしていますが、やはり地域の魚を地域で消費していくっていう文化はとても大事だと思いますので、そこも一緒に考えていただけると助かると思っています。以上です。
会長	ありがとうございました。ほかに何か要望と質問等あれば。はい、どうぞ。
委員	さっきの就業支援フェアのことですけど、来場者の募集を、県の広報テレビか何かで、県民の方に広い範囲でこう宣伝していただくといいなと思いますがいかがでしょうか。
事務局	まだテレビのほうまでは決定していませんけれども、ラジオの募集でありましたら、やる予定にしております。 できるだけ多くの方に目にしていただけるように、いろんなところへのチラシの配布でありますとか、あと新聞広告でありますとかそういうのも今検討を進めているところですので、できるだけ広く情報提供して多くの方が参加できるようにしたいと考えているところでございます。
会長	他に何か要望等質問等あれば。いいですか。はい、色々ご要望等ありましたが、ま、そういう委員からの要望等ありましたが、少しそれを踏まえて今後の取り組みとしていただければと思います。 以上で本日の予定は全て終了しました。 最後に、その他として、委員の皆様から何かありますか。
委員	本日は貴重な御意見をいただき、誠にありがとうございました。冒頭、委員から深刻な担い手不足ということで御指摘を賜りました。私の所管しております、農業だったり、畜産だったりも非常に人手不足でありまして、それ以外の分野、医療、福祉、建設業等々、日本の人口が減ってきているというのを実感しており、厳しい状況にあると思っています。 そのような中で、県の方でも少子化対策ということで取り組みをしておりますが、速効性という部分でなかなか厳しい部分もございますので、まずは水産業の魅力を、どう伝えて、若い方たちにどう参入していただけるかということを基本に、それ以外にも、外国人材や女性など様々な人材確保の取組

	でしたり、あるいは最近だとＩＴとか自動化といった生産性をどう上げるかといったことで、人口減少への適応ということを県としても課題にしているところでございます。先ほど資料にもありましたが、本県初の就業者フェアといったことも含めて、取り組んでまいりたいと思っております。 それ以外にも、日南市のほうでは農林水産と観光・商工とがセットになった取組ですとか、中高生向けの施策、クロマグロの状況、造船所、内水面の増殖活動、みやざき丸の調査の状況、おさかな普及協議会の活動などについて御意見・御指摘等を賜ったところでございます。 我々も、水産業をなんとか成長産業ということで持って行きたいと考えておりますので、これは、関係者の皆様のお力添えがなければできませんので、引き続き、御支援、御協力をお願いします。本日はありがとうございました。
委員	少しいいですか。宮崎魚市は、なんで箱代や氷代がかかるのですか。そそのような市場は）宮崎だけですよ。
委員	宮崎魚市です。委員が言われているように、鹿児島とかは箱代や氷代をとらないですよ。直接の担当ではないので詳しくは分かりませんが、宮崎はどうしても陸の孤島ということで、人間を確保して、箱詰めをして発送をするということを迅速にやっけないと、トラック便の時間の制限があるので、出荷が間に合わないということから宮崎魚市のほうで箱詰めをしています。 鹿児島では買った仲卸さんが箱を購入して、箱詰めして出荷していく。これができるのは、岸壁に近い市場であること。水揚げして、その場で競り売りをして箱詰めができる。それと、箱詰めをする人材派遣会社が市場のほうにありますが、宮崎にはそれがないため、現在は荷主さん、漁業者さんに負担をお願いしている部分もあると思います。すべてが正解ではないかもしれませんが、大まかにいうとそういうことだと思います。
会長	これに関して、事務局から何かありますか。今後調べていただいて、対応いただければと思います。 他にありますか。なければ、本日委員の皆様から要望等ありましたが、少しそれを踏まえて今後の取り組みとしていただければと思います。それでは、委員の皆様、貴重なご意見をありがとうございました。
事務局	吉田会長、ありがとうございました。以上をもちまして、令和８年度第１回宮崎県水産業・漁村振興協議会を終了いたします。ありがとうございました。